

# 進路選択状況調査報告(Ⅱ)

一看護学校3年生の看護教育に対する感想  
および職場選択に対する意識一

松本純平\*

岡本英雄\*\*

~~~~~<内 容>~~~~~

- I 調査のねらい
  - II 調査の内容
  - III 結 果
  - IV 結果の要点
- ~~~~~

## I 調査のねらい

### 1. 本研究全体の構想

本研究全体の構想については、前回の報告(松本・岡本「進路選択状況調査報告一看護学生の進路選択と進路設計一」昭和51年度日本看護協会調査研究<報告No.4>,日本看護協会,1977年)において、「調査のねらい」の章ですでに述べたとおりである。その要点をあげれば、ある年度入学の看護学生を調査対象として、看護学校1年入学時点と3年生の進路決定時期の2時点で質問紙調査するといういわゆる縦断的な調査方法を採用し、看護学生を、日々「看護学生たらん」とし、将来「看護婦等の職業に就こう」としている動的な存在として、その意識や行動を、特に進路選択に関連す

るさまざまな要因とのかかわりの中でとらえてゆこうとするものである。別な言い方をすれば、単に看護学生は看護婦になるもの、看護学校は看護婦への予備校としてとらえるのではなく、近年、教育、職業指導、職業心理学などの分野で注目されている「キャリア発達」あるいは、「職業的社会化」という視点から、看護学生を、進路探索期、キャリア形成期にある青年としてとらえてゆこうとするものである。より具体的なイメージで表現すれば、看護学生が看護婦になるということは、看護教育の過程の中で選択された一つの結論であって、それは入学した時点ですべてがその結論に向って決められてしまうわけではない。それは感受性に富んだ青年期において過ごす看護学校での日々の生活を通して、より安定したもの、より個性的になってゆく、キャリア発達のプロセスの卒

\*まつもとじゅんぺい/職業研究所

\*\*おかもとひでお/上智大学

業時で選ばれた一つの具体的な進路ととらえるべきである。看護学校におけるキャリア発達のプロセスは、大学や短大において同時期を過ごす青年に比べれば、平坦なものとはいえないであろう。いくつかの危機があり、それをのりこえる中で、看護学生はキャリア発達をとげてゆくのであろう。そういう実態をとらえることが本研究のねらいである。さらに、こうした観点から得られた調査結果から、最終的には、現代社会の職業観の変化、学生の価値観の多様化などを前に、その在り方を問われている現代職業教育機関の一つとしての看護学校の看護教育に対して、そしてまた、学歴社会批判を背景にさまざまな問題を指摘されている中学校や高等学校における進路指導、キャリア・ガイダンスに対して、ささやかな問題提起をおこなうということもねらっている。

## 2. 本報告の位置づけ

現在、予定していた質問紙調査票による対象者からのデータ収集はすべて完了していて、一個人についてそれぞれ200項目を超えるデータが得られている。研究報告の手順としては、それらを、それぞれの領域毎に整理すること、さらに時間的な流れにそって関連する項目同士をクロスさせたり、多変量解析の手法を用いて集約したり、要因を分析することが設定されている。ところで、整理す

る各領域は多岐にわたるものもあり、また相互に複合しているものもあり、さらに、学生自身が記述した内容をできる限り生かす方向で整理することを考えているので、全体を一時に短かい紙面で発表することが難しいというのが現状である。それゆえ、本報告は、第2回調査分のうち、「看護教育を受ける過程における状況」と、3年生時点での「将来の計画」に関する状況のうち「職場選択の条件」について、その結果をとりまとめたものである。第2回調査に関しては、この他に、「3年生時点での全般的な状況」、「看護教育に対する態度・意見」、「卒業後の進路」などについてのとりまとめ報告分が残っている。さらに、次のステップとして、それら3年生進路選択状況を、看護学校入学の背景にあるさまざまな要因や、入学までのプロセスとの関係から分析することや、調査の中で目立った対象学校の特色に関連して、それらを分析し報告することが残っている。本研究の最終的なねらいである看護教育や高校時代のキャリア・ガイダンスに対する問題提起はそれらの報告をまとめる形でおこなうのが適当であろう。

以上のような調査結果の整理の手順の中に今回の報告は位置づけられているので、本報告における結果のまとめは、本研究全体に対するものではなく、第2回調査でとりあげたいいくつかの領域について、看護学生の実態を整理したものである。

## II 調査の内容

### 1. 調査票の構成

第2回目の調査票は次にあげるように、大きくは6つの部分から構成されている。

#### 1) 調査対象者の個人的特徴

- ① 出身地域
- ② 出身高校の諸特徴
- ③ 家庭的背景など

#### 2) 看護学校入学時点の状況（回想法）

- ① 入学動機

進路選択状況調査報告(Ⅱ)

- ② 入学時の進路予定
- ③ 入学時の進路選択への評価
- 3) 看護教育を受ける過程における状況
  - ① 看護観・看護婦観の変化
  - ② 「入学してよかった」経験
  - ③ 「入学して失敗したな」経験
  - ④ 「学校をやめたい」経験
  - ⑤ 実習後の看護観・看護婦観
- 4) 現在の状況
  - ① 全般的な状況
    - (イ) 看護学生としての誇り
    - (ロ) 現在の生活に対する満足感
    - (ハ) 生活における重視していること
  - ② 看護婦に対する態度
    - (イ) 適合性
    - (ロ) 看護婦の職業イメージ
    - (ハ) 自分の子に対する態度
  - ③ 進路設計をめぐる価値観
    - (イ) 職歴観
    - (ロ) 仕事観
    - (ハ) 聖職観
- 5) 看護教育に対する態度・意見
  - ① 期待される看護婦像
  - ② 看護教育の中で不足しているもの
  - ③ 座学と実習とのギャップ
  - ④ 看護教育に対する不満
- 6) 将来の計画
  - ① 卒業後の進路
    - (イ) 卒業後の進路予定
    - (ロ) 決定時期
    - (ハ) 重視したい条件
  - ② 職業経歴
    - (イ) 予定している職業経歴
    - (ロ) 関連する地理的条件

③ 職場選択の条件

2. 調査の対象者

第1回調査と同じく首都圏の高等看護学校、看護短大、大学、合計10校の3年生全員を対象者とした。第1回調査との関係から最終的に分析の対象とした有効回答数は表1のとおりである。

表1 調査対象者

| 学 校 名               | 第1回有効回答数 | 最終分析対象数 |
|---------------------|----------|---------|
| 1 国立A病院付属看護学校       | 35       | 30      |
| 2 国立B大医学部付属看護学校     | 39       | 38      |
| 3 C通信病院高等看護学校       | 38       | 32      |
| 4 都立D               | 126      | 109     |
| 5 // E //           | 69       | 61      |
| 6 私立F大病院併設看護学校      | 39       | 38      |
| 7 私立G大医学部付属看護学校     | 82       | 43      |
| 8 私立H医大併設看護短大       | 59       | 39      |
| 9 I日赤短大             | 46       | 42      |
| 10 国立J大特別教科看護教員養成課程 | 17       | 17      |
| 計                   | 550      | 449     |

3. 調査の期間

調査は、昭和53年10月2日から10月28日までの4週間に実施した。

4. 調査の方法

調査は、別添のような質問紙調査票を用い、回答は自計式で、対象者自身が直接記入することによって得た。調査の実施にあたっては、原則として前回同様集合法を採用した。すなわち、調査者が対象学校を訪問し、放課後あるいは空き時間を利用し、教室等において一斉に実施する方法である。回答に要した時間はおおむね50分である。折悪しく、病院実習の期間にあっていた学校もいくつかであったが、その学校については、対象校の教師による集合的な実施あるいは、一部の学校では、

留置法も採られた（留置期間は2週間）。

### Ⅲ 結 果

#### 1. 看護教育を受ける過程における状況

##### 1) 看護観・看護婦観の変化

「入学した当時とくらべて、現在のあなたの看護、看護婦に対する見方や考え方は、変わっていますか」という質問に対する回答は表2のとおりである。変わったとする者が、82.2%、変わっていないとする者が、17.6%で、8割を超える大部分の者は、入学後看護教育を受ける中で、看護観・看護婦観において変化を経験していることを示している。それでは、具体的にはどんな点で変化しているのだろうか。自由記述欄に書かれた事項を整理することで、その一般的傾向をとらえてみよう。

自由記述欄への書き方はそれぞれ個性的なものである。その一般的傾向を一言でまとめるといことは難しいが、あえてまとめれば、「看護および看護婦を現実的に見ることができるようになった」、「イメージが明確化した」という記述例で代表され、これに尽きるといってよいであろう。もちろん、入学以前に各人がもっている看護や看護婦に対する認識の中味は違っているので、主要な変化として回想されてくる事項には、違いがみられる。そこで、もう少し具体的にみてみると、

表2 看護観・看護婦観の変化

「入学した当時とくらべて、現在のあなたの看護、看護婦に対する見方や考え方は、変わっていますか。」

|       | 人 数 | 百 分 率 |
|-------|-----|-------|
| は い   | 369 | 82.2  |
| い い え | 79  | 17.6  |
| 無 回 答 | 1   | 0.2   |
| 計     | 449 | 100.0 |

共通して記述の多いものは、第1に「看護の専門性」ということに関する認識の変化である。より具体的には、

- ・看護の内容がもっと低いレベルのものと考えていましたが、確立された学問と言えないまでも、看護の専門性に可能性が見えてきた

というような、看護全般に対する認識の変化や、

- ・看護は医療とは別の分野で、看護婦は医師の助手ではないこと

- ・看護婦の医療における位置づけの大きさにおどろいた

というような現行医療体制における看護・看護婦の役割に関する認識の変化、あるいは、

- ・やさしさだけでは良い看護婦になれない
- ・簡単に看護婦になれると思っていたが、高度な知識・技術が必要である。
- ・看護は誰でもできるものであるが看護婦はプロであり、高度な技術を要するものと思われる

など、専門的技術・知識に対する認識の変化、あるいは、もっと具体的に、看護に関する技術・知識の合理的・科学的側面に言及したもので、看護活動の内容の広さ・深さという点での認識の変化を表明する者も多くみられた。

そして、第2に、これら専門性に対する認識の

## 進路選択状況調査報告(Ⅱ)

深まりや多様な経験の蓄積は、同時に「看護の仕事は、難しいもの、きびしいもの、大変なもの」という印象を強めるようである。

- ・白衣の天使だけではなかった。知識・技術が大変に必要なきびしい仕事

さらに、その「きびしさ、大変なもの」という意識の変化は、専門的知識・技術の広さや深さに対するものと共に次にいくつかあげるような、実践的な看護活動がもっている肉体的・精神的労苦に対するものをも含んだものとして認識されるのである。

- ・重労働であり、肉体的に大変である。白衣の天使などとのんきなことは出来ない
- ・基礎知識に基づいて考えながら行動する知的な職業であると共に、肉体労働者というイメージが強まった
- ・「看護する」というより「働いている」というかんじ

第3に、これら「きびしい」という意識変化は、一方では、果たして自分はやっていけるのだろうかという「不安」を抱かせるようである。また一方で、「自分の甘さがわかった」というような反省のきっかけとなったり、「もっと教育年限を長くすべきではないか」というような意見を持たせる。これまでの自己の意識に対する反省は、

- ・安易な気持ではやれない
- ・信念をもたねばならない
- ・勉強をしなければならぬ

など、多様な広がりをもって表現される。

そして、第4に、次のような記述例、

- ・看護の難しさを知った。単に優しい看護婦でなく、その看護の内容の深さに誇りをもてる
- ・病棟実習などをくり返していくうちに看護のすばらしさが何となくわかった

にみられるように、自分の個性発揮のはけ口、自己の成長の手段として、看護婦という職業活動を再認識していくような意識変化を述べているケースも少なくない。

しかし、第5に、このようないわば理念的な看護活動や、看護活動の陽のあたる部分への高い評価と対をなすかのように、実際病棟実習などを通して、「理想と現実のギャップ」を強く感じた者も少なくない。それは、時に先輩看護婦の看護活動を観る中で、

- ・（看護婦には）優しい人が多いという感じから、きびきびと仕事をさばっていく感じの人が多くなるようになった
- ・献身的な仕事とっていたが、意外に事務的で割り切っている

と意識されたり、

- ・マナー化している
- ・もっと人間的ふれあいがあると思った
- ・業務が忙しすぎる

と批判的な意見を持ったり、

・社会的には低くみられがちだが、もっと評価

されてもよいと思う

- ・考えていたより社会的地位が低い

という認識をもつ者もいる。

また、第6に、これら現実をみつめる中で

- ・職業として、給料をもらうことに結びつけるようになった

- ・看護婦なりに仕事は仕事として、生活を楽しんでいることがわかった

という記述にみられるように、看護婦を、「職業として自覚したり」、労働者としての性格を見出したりする点に触れる者も少なからずみられる。

以上、具体的な記述を手がかりに、看護学校での体験がどのような意識変化と関係しているのかをみてきた。整理してみれば、専門性への自覚、看護活動への理解・認識の深まり、看護活動をやりがいのあるものとして自覚すること、職業として看護婦をとらえることなどの点で、看護教育が看護学生の意識や認識に影響を与えていることを理解することができる。

## 2) 「入学してよかった」経験

「あなたは、この学校に入ってよかったと思うようなことがありましたか」という質問で、各人が看護学校に入学し学んだ意義をどうとらえているのかという点をみようとした。その結果は表3に示されているように、「入ってよかった」という思いをしている者が、75.3%、そのような思いをしていない者が22.0%ということで、だいたい4人のうち3人までが、看護学校に入学し学んでよかったという経験をしていることを示している。これはかなり高い割合といえるだろう。

表3 「入学してよかった」経験

「あなたは、この学校に入ってよかったと思うようなことがありましたか」

|       | 人 数 | 百 分 率 |
|-------|-----|-------|
| あ る   | 338 | 75.3  |
| な い   | 99  | 22.0  |
| 無 回 答 | 12  | 2.7   |
| 計     | 449 | 100.0 |

それでは、実際どのような場面で、「入学してよかった」という経験をしたのだろうか。記述された事柄をまとめることで、その一般的な傾向をみてみよう。

具体的な記述をながめてみたとき、所属している学校の違いにかかわらず共通して記述されることが多いものは、

- ・良い友にめぐり会うことができた
- ・親友ができた
- ・いろいろな友と知り合えた
- ・寮生活での友人との語らい

という記述例にみられるように、「友人ができたこと」「友人との交流」を通して、「よかった」という思いをしていることがわかる。

次いで比較的多くあげられることは、

- ・実習でいろいろな人と接し、話ができたと
- ・様々な人々とめぐりあえたこと
- ・患者を見て、健康や生命の大切さを知った
- ・患者に感謝される時

というように、臨床実習の中で、患者とのさまざまなふれあいの中に、「入学してよかった」という思いを深める例が多くみられる。

第3に多く書かれている事柄は、

## 進路選択状況調査報告(Ⅱ)

- ・優秀な教師に会えた
- ・教師に恵まれている
- ・権威のある医師
- ・一生懸命な教師
- ・看護に対する展望の湧くような授業

というような記述に表わされるように、充実した教育内容と結びついた形での教師との出会いについて触れる場合もかなり多い。

それと共に、第4に、

- ・教育資材が豊富
- ・大病院で実習できる
- ・施設設備が整っている
- ・実習場が安定している

というような、教育環境が充実していることを実感したり、他の学校と比較したとき、「この学校に入学してよかった」という思いをすることも多く示されている。

続いて多くの者によってあげられているのは、看護学校への入学が、各人の自己成長の機会を提供しているという実感である。具体的には、

- ・物の見方が客観性、多角性をもてるようになった
- ・自分の将来に対する明確なものがわかりかける
- ・以前に比べて行動に対して責任をもつという観念が出たこと
- ・自分の考え方が以前より深められ変化したと感じるとき
- ・積極性が身についた
- ・「人間について」考えるようになった

- ・人間関係の中で自分をみつめた時
- ・将来、自分の身につく勉強をしている
- ・自分のからから脱せそうに思える
- ・自主的に考えようとする態度

というような記述に代表されることである。

また、当然といえば、当然ではあるが、

- ・専門知識の習得
- ・知識・技術を身につけた
- ・幅広い教養が身についた

という、知識・技術の習得に関することもあげられている。これと関連して、

- ・自分が病気になったとき、知人に病人ができたとき

という、習得した知識・技術の効用に触れる例もみられた。

その他として、数はあまり多いとはいえないが、

- ・就職において都合が良い
- ・就職の不安なし

という安定した「将来性」を感じる時や

- ・東京だから何かやるときすぐできる
- ・東京だから他の学校との交流がある
- ・交通の便がよい
- ・利用できる施設の多さ
- ・情報が得やすい

あるいは、

- ・費用が安い
- ・経済的に楽
- ・お金がかからない
- ・授業料がいらぬ

また、

- ・週休二日制
- ・資格をとれる
- ・好きな医学が学べる

といった所属する施設が供与するさまざまな「便宜性」について触れる場合もいくつかみられた。

以上、具体的な記述をみると、「入学してよかった」という経験は、主に、友人、教師、医師、患者などの人との出会いの中に、あるいは、充実した教育環境を意識した時、そして、自己成長の実感の中で生じている様子がうかがえる。

### 3) 「入学して失敗したな」経験

「あなたは、この学校に入って失敗したと思うようなことがありましたか」という質問に対する回答は、表4のとおりである。各人がどんな現実につきあたって、そのような思いを味わったかは別として、「失敗したな」経験があると答えた者が62.1%、そういった経験のない者が35.9%、無

表4 「入学して失敗したな」経験

あなたは、この学校に入って失敗したと思うようなことがありましたか

|       | 人 数 | 百 分 率 |
|-------|-----|-------|
| あ る   | 279 | 62.1  |
| な い   | 161 | 35.9  |
| 無 回 答 | 9   | 2.0   |
| 計     | 449 | 100.0 |

回答2.0%という結果で、大雑把にいうと看護学生5人のうちの3人は、「看護学校を選び入学したことを後悔するような経験をもっているわけである。

それでは、次にそのような思いが具体的には、どのような場面や出来事に遭遇して生じたものなのかをみてみよう。

「どんなときか」という問いへの回答の中に共通してみられた事柄で、目立ったものは第一に、過密なカリキュラムについて言及したものである。

- ・かなりきついカリキュラムで体力がなくなった
- ・実習中・レポート作成中

カリキュラムと関連して、ある卒論を義務づけている各種学校にあってはとくに、

- ・卒論があることを知ったこと

とという記述が多かった。

そして、第二には、これら日々の生活を大きく支配しているカリキュラムの過密さを背景にして、「自由がない」「疲れる」「忙しい」といった、「ゆとりのない生活」に関する記述が多くみられた。具体的には、

- ・束縛感。カリキュラムが密で精神的に疲れる
- ・つめ込みで、精神的負担が大きい
- ・毎日カリキュラムに追われ、余裕がもてないとき
- ・試験・レポート・ゼミ・実習などで追いつめられる
- ・実習の記録が山ほどあって疲労の連続の時



## 進路選択状況調査報告(Ⅱ)

第三に、目立った記述例は、

- ・看護婦に向いていないと思ったとき
- ・看護婦として人格的適性という面から自信がなくなるとき
- ・自分の性格とか、自分にあった職業とか問いただしたとき
- ・看護婦という仕事が、自分には無理ではないかと感じたとき
- ・体力・勉強についていけない

に表わされるような、専門教育・実習などを受ける中で、「看護婦への適性」について疑問をもったり、不安になったり、自信を失ったりしたときを述べているものである。この中には、1例

- ・(教師に)性格を指摘され、看護婦にむいていないといわれたとき

という記述も含まれているが、他はすべて自発的・自覚的な内容であった。

第四に比較的多くみられたものは、「学校の教育方針」に触れた記述である。

- ・この学校の教育方針に反感をもつとき
- ・学校の設備の使用について、きびしいことを感じたとき
- ・看護婦に対して課せられる、ある規則・倫理的な抑制のようなものが鼻についた

この中に、根本的には「学校の教育方針」に対する問題意識を含んでいるとみて、

- ・退学問題など本人の意志ではないのに、学校

をやめなければならないことが起こったとき

という例に表わされた「退学問題」への言及も含めてみた。ただし、これは、ある特定の学校に集中して記述されたもので、たまたま、今回の調査対象学年において、退学問題が生じて、「学校の教育方針」ということが大きく顕在化したものと推測される。

第五に、先にあげた「看護婦への適性」ということとも関連していると思われるが、「他の進路を選ばなかった後悔」というような点を記述したものも多い。具体的には、

- ・○○○(他の看護学校)に入ればよかったと思った(時間、実習体制の点で)
- ・大学に行きたくなるとき
- ・学歴を問われるとき
- ・学歴云々と人に言われたとき

その他、比較的記述が多くみられた事柄が3つほどある。それは、「実習体制」「マスプロ教育」「寮生活」に関するものである。ただし、これらは数は多いが、「実習体制」と「マスプロ教育」に関しては特定の2校、「寮生活」に関しては特定の1校に偏っていた。具体的には、次にあげるようなものである。

- ・実習病院が遠い、実習のため朝早く起きねばならない
- ・実習の受け入れ体制に不満
- ・実習期間が短い
- ・大量生産的教育で、わからないとおいてゆかれる

- ・大教室授業で十分な学習ができない
- ・生徒と先生との対話が少ない
- ・この学校にそまっている
- ・あまりにも閉鎖的と感じるとき
- ・1人でいられるときが少ない
- ・私生活への干渉
- ・私生活までの介入，全寮制で規制が強い

また、「マスプロ教育」に関する記述が多い学校では、他の学校ではほとんどみられない、

- ・技術的に他の看護学校の人より遅れていると思う
- ・実際に就職する時点で自信がない
- ・技術的に満足がいかない

というタイプの記述も目立った。その他少数例としては、いわゆる「ホームシック」にかかったときに言及する例や、「寮生活で人間関係のわずらわしさ」について記述した例もみられた。

以上、具体的な記述をながめて、「入学して失敗したな」経験を生じさせる場面の一般的傾向をまとめてみるなら、「過密なカリキュラム」を目前に置いたとき、それをこなしていく過程で「忙しさに、疲労の中で、生活にゆとりがない」と実

感されたとき、そして、いくつかのつまづきから「看護婦への適性」に疑問をもったり、自信をなくしたりしたとき、そして、「他の進路」を選ばなかった後悔や、そんな毎日の生活を規制している「学校の教育方針」に対して反感が頭をもち上げる時、学生達は、「入学して失敗したな」という思いを経験しているといえよう。

#### 4) 「学校をやめたい」経験

「あなたは、これまで、学校をやめたいと思ったことがありますか」という質問への回答は、表5のようなものであった。調査時点に至るまで、「学校をやめたい」というような気持を経験していない者が、33.0%、何度かは、「やめたい」という思いをした者が、62.4%、しょっちゅう思っているというのが、4.0%という結果である。大雑把に言えば、3人のうち2人までは、少なくとも1度以上、「学校をやめたい」という思いを経験しているということである。

「何度かある」および「しょっちゅう思っている」という回答をした者には、さらに、そのような思いが、「いつ頃、どんなことがあったときなのか」そして、「それでもやめなかったのはなぜか」という質問を加え具体的な内容を記述してもらった。その具体的な記述例の中から、「学校をやめたい」経験の発生する場面とその克服の様子をみてみよう。

「いつ頃」という質問には、あまりハッキリした記述が得られなかった。このことは、「学校をやめたい」というような思いが、ある短かい期間に、何か具体的な出来事の中で生まれるというより、時間を特定するのが難しい比較的長い期間でのある種の精神状況との関連で記憶によび戻されるものであることを予想させる。

どんな場面で、「学校をやめたい」経験をして

表5 「学校をやめたい」経験

あなたは、これまで、学校をやめたいと思ったことがありますか

|             | 人 数 | 百分率   |
|-------------|-----|-------|
| な い         | 148 | 33.0  |
| 何度かある       | 280 | 62.4  |
| しょっちゅう思っている | 18  | 4.0   |
| 無 回 答       | 3   | 0.7   |
| 計           | 449 | 100.0 |

## 進路選択状況調査報告(Ⅱ)

いるのかを記述の多い方から整理してみると、まず第一に、「実習中」というのが最も多く書かれている。また、そのことと関連していると思われるが、「カリキュラムや試験・実習・レポートなどの忙しい時やきつい時」ということも多く触れられている。また、「自己の看護婦への適性について疑問を感じる時」に類する記述も多くの者によって触れられるものである。さらに、「大学進学した友や他の進路を選んだ友と話し合う時、あるいは、もっと直接的に、「大学に行きたい」とか「自分の希望をまげなければよかったと思う時、自分の希望することをしたいと思う時」なども、比較的多い方である。

また、授業に関することもかなり触れられているが、入学して間もない頃のものとしては、「授業が面白くない時」が多いが、3年生になると逆に、「授業についていけない時」という対照的なものになっている。

その他、数はそう多いものではないが、「体力に自信がなくなった時」とか「病気をした時」といった、「健康や体力について問題が生じた時」に言及するものも数人みられた。また、「寮生活で人間関係の上のトラブルがあった時、寮委員となって多忙をきわめた時」なども「やめたい」という気持ちにさせるものとして記述されている。

ところで、「学校をやめたい」経験の多さのちがいが、すなわち、「何度かある」と「しょっちゅう思っている」という回答者の間には、なにかちがいがあのかどうかを調べてみると、「しょっちゅう思っている」と回答した者の記述した具体例は、

- ・実習に入ったとき
- ・家庭生活がうまくいかないとき、忙しすぎる

とき、実習でいやな思いをしたとき

- ・とても自分の生きがいになりそうにないしと思ったとき
- ・能力の限界を感じたとき
- ・実習がきつく、つらくて、4年制の大学に憧れた(とき)

などで、内容的には、「何度か」という回答をした人とまったく変わったところがみえなかった。

次に、「学校をやめたい」経験のある人について、その気持を現在にいたるまで、どのように克服したり処理してきたのかをみてみたい。

具体的な記述をごく大まかなタイプわけをしてみるなら、次にあげるいくつかのタイプに型分けできるようなのである。ただし、時間的にも空間的にも限られた条件の下で得られた自由記述文を手がかりにしての型分けであるので、実際のいわば危機のりこえの行動は、学生個人個人のもついろいろな要因とからみ合せて、いくつかのタイプに属する行動が複合したものとするのが適当であろう。

危機のりこえのタイプで、最も多く記述されたのは、「初志貫徹型」である。具体的には、

- ・看護婦になりたいと思った
- ・一度やろうと決心したことであったから
- ・自分が選んだのだからとにかくやろうと思った
- ・最後までやり通したかった
- ・「やめたい」と思わせた出来事が自分の進む道と直接関係のないささいな事だと思った

などと表現された一群である。

次に目立つのは、「初志貫徹型」の否定形的表現といえなくもないが、「逃避嫌悪型」ともいう

べき記述である。すなわち、

- ・逃げだすのはイヤだった
- ・ここでやめても何にもならないと思ったし、できるなら本当の看護をわかってからやめなければうそと思った
- ・自分の目標をまげるのはイヤだった
- ・一度やりはじめたことを投げ出すのは卑怯だと思った
- ・ここで断念すると別な道もまた断念しそうだった

などがこれにあたる。

第三の型は、身近かな人々から励まされて挫けそうな気持を克服した、いわば、「励まされ型」ともいうべきタイプである。このタイプでは、

- ・友人の励ましがあつた
- ・ドクターの励まし
- ・今、途中でなげだしたらどこへいったって続かないと父に言われ考えた

など、励ましてくれた人としては、友人が最も多いが、両親・家族・ドクター・教師・先輩と個人的に広がりが見られる。

第4のタイプは、「資格志向型」というべきもので、

- ・とりあえず資格をとるところを目標にしようと思った
- ・卒業するまで頑張ろう（と思った）
- ・（やりたいことをするのは）卒業してからでも間に合うと思ったから
- ・ここまできたらやるしかないと思ったから、

資格だけは一応とおきたかったから

- ・意地でも卒業しようと思った

など、資格取得や卒業に目標をしぼることにより現状を克服しようとする態度である。

次に、「現実受容型」ともいうべき行動を書いている一群がみられる。具体的には、

- ・（トラブルについては）自分の非を認めていたから
- ・実際に働いてみなければわからないし、負けるのはいやだった。
- ・もう少し頑張ってみようと思った
- ・自分の可能性を信じていた
- ・マイペースでいこうと思った
- ・そのつらさをのりこえた時向上すると思った

などである。

先の「資格志向型」とも類似した側面もっているが、苦しい現状、「やめたい」という思いを起こさせる現状の中に、新しい心のハリのようなものを見つけだすことで、気持を処理するような記述例もいくつかみられた。たとえば、

- ・実習に出て看護のすばらしさを知った
- ・（実習をする中で）つらさより喜びが大きかった
- ・もっと自分にはないものを発見できると思ったから
- ・女性として経済的手段がほしかった
- ・（実習の前には不安があつたが）実習開始後、看護とはこんなに楽しいものかと思った

などで、いわば、「長所発見型」とでもいうこ

とができるタイプの記述例である。

その他には、「なりゆき型」あるいは、「しがらみ型」というべき、どちらかという受動的、消極的な記述例もみられた。たとえば、

- ・他にすることもないから
- ・やめてもゆくあてがない
- ・親のこと、金銭的なことなどを考えると勇気がなかった
- ・親に苦勞をかけたくない
- ・大学に行っても、将来の経済的自立の安心感が得られない
- ・退学すればお金の返済がある

などである。

その他に少数例としては、「解決型」というべきものもみられる。たとえば、病気などが原因で「やめたい」という気持ちになったときや、追試験や再試験などが原因の場合、学校を継続してゆく上で障害になっていたものが排除されることにより、「学校をやめる」という危機が回避されるようなタイプである。

## 2. 職場選択の条件

### 1) 職場選択意識を把握する手続き

看護学生たちが看護婦として就職をするとき、職場のもついろいろな側面のうち、どのようなものを重視しているのかをたずねることから、看護学生たちの職場選択の背景にある職場選択の意識構造ともいべきものをさぐってみた。

まず、表6に示される25項目について、「あなたが看護婦として就職するとしたら、次にあげる職場の条件をどのくらい重視しますか。該当する

・を○で囲んで下さい」という設問の下に回答を

もとめた。回答は、「非常に重視する、かなり重視する、どちらともいえない、あまり重視しない、重視しない」の5段階で評定するわけである。

第2回調査の有効回答数は449であるが、この設問への回答については、因子分析法による解析をおこなおうとしたため、25項目全部について指示通りの回答をした424名分が解析の対象になった。

解析は次のような手続によった。①まず、各項目への評定について、「非常に重視する」から「重視しない」までに、それぞれ5点から1点まで数値を与えた。(表6は平均値と標準偏差)②次に、その数値をもとに、25項目の項目内部のピアソンの積率相関係数行列をもとめた(表7)。③得られた相関係数行列をもとに、共通性の推定値としてSMC(重相関係数の平方)を用いて主因子法により因子を抽出した。④因子は8つ抽出されたが、因子寄与(固有値)の大きさなどから判断して因子の数を4として、4因子についてバリマックス回転法により因子軸の回転をおこなった。その結果得られたのが表8の因子負荷行列である。

### 2) 職場選択意識構造

#### ① 条件の重視度と評定のバラツキ

表6は、各評定に5点から1点までの数値を与えたとき、25項目それぞれについての平均値と標準偏差値である。大まかにいえば平均値の大きいものほど、職場選択の際重視される割合の高い項目といえることができる。また、標準偏差値の小さいものほど、各個人による評定にバラツキの少ない項目といえることができる。表6をそうした視点からみると、重視される割合の高い項目としては、

4. 充実した現職教育がおこなわれていること



表7 職場選択意識構造

—25項目の内部相関係数行列—

| 項目 | 1 新しい看護 | 2 最先端をゆく医療活動 | 3 有能なリイダー | 4 充実した現職教育 | 5 早く責任ある地位 | 6 仕事をまかせてもらえ | 7 継続教育の便宜とし | 8 給与がよい | 9 厭しくない選抜 | 10 勤務条件が守られる | 11 伝統がある | 12 高名な医師 | 13 優秀な仲間 | 14 新設病院 | 15 大都市にある | 16 規模が大きい | 17 公務員 | 18 両親の居住地に近い | 19 先生などの評判よし | 20 知り合いの評判よし | 21 知り合いが勤めている | 22 総合病院 | 23 労働組合活動 | 24 福祉厚生の充実 | 25 研究活動活発 |
|----|---------|--------------|-----------|------------|------------|--------------|-------------|---------|-----------|--------------|----------|----------|----------|---------|-----------|-----------|--------|--------------|--------------|--------------|---------------|---------|-----------|------------|-----------|
| 1  | 475     | 457          | 415       | 394        | 254        | 279          | 309         | 348     | 248       | 356          | 511      | 542      | 501      | 487     | 464       | 556       | 227    | 364          | 335          | 309          | 430           | 286     | 433       | 529        |           |
| 2  | 569     | 396          | 421       | 422        | 335        | 279          | 309         | 348     | 248       | 356          | 634      | 444      | 501      | 487     | 464       | 556       | 227    | 364          | 335          | 309          | 430           | 286     | 433       | 529        |           |
| 3  | 418     | 372          | 151       | 122        | 200        | 171          | 187         | 383     | 319       | 356          | 285      | 444      | 501      | 487     | 464       | 556       | 227    | 364          | 335          | 309          | 430           | 286     | 433       | 529        |           |
| 4  | 181     | 251          | 151       | 122        | 191        | 034          | 096         | 248     | 319       | 356          | 457      | 467      | 243      | 487     | 464       | 556       | 227    | 364          | 335          | 309          | 430           | 286     | 433       | 529        |           |
| 5  | 304     | 207          | 283       | 183        | 335        | 279          | 309         | 258     | 207       | 180          | 511      | 542      | 501      | 487     | 464       | 556       | 227    | 364          | 335          | 309          | 430           | 286     | 433       | 529        |           |
| 6  | 267     | 204          | 267       | 404        | 200        | 171          | 187         | 207     | 207       | 249          | 634      | 444      | 501      | 487     | 464       | 556       | 227    | 364          | 335          | 309          | 430           | 286     | 433       | 529        |           |
| 7  | 097     | 163          | 176       | 112        | 191        | 034          | 096         | 098     | 098       | 187          | 285      | 444      | 501      | 487     | 464       | 556       | 227    | 364          | 335          | 309          | 430           | 286     | 433       | 529        |           |
| 8  | -019    | -004         | -037      | 031        | 087        | 034          | 096         | 248     | 319       | 356          | 457      | 467      | 243      | 487     | 464       | 556       | 227    | 364          | 335          | 309          | 430           | 286     | 433       | 529        |           |
| 9  | 121     | 127          | 170       | 215        | 115        | 155          | 213         | 431     | 319       | 356          | 385      | 385      | 262      | 545     | 464       | 556       | 227    | 364          | 335          | 309          | 430           | 286     | 433       | 529        |           |
| 10 | 051     | 273          | 079       | 143        | 282        | 072          | 163         | 273     | 258       | 180          | 511      | 542      | 501      | 487     | 464       | 556       | 227    | 364          | 335          | 309          | 430           | 286     | 433       | 529        |           |
| 11 | 090     | 285          | 224       | 212        | 231        | 127          | 169         | 309     | 207       | 249          | 634      | 444      | 501      | 487     | 464       | 556       | 227    | 364          | 335          | 309          | 430           | 286     | 433       | 529        |           |
| 12 | 355     | 339          | 470       | 336        | 167        | 267          | 287         | 163     | 098       | 187          | 285      | 444      | 501      | 487     | 464       | 556       | 227    | 364          | 335          | 309          | 430           | 286     | 433       | 529        |           |
| 13 | 037     | 220          | 048       | 084        | 268        | 077          | 127         | 269     | 248       | 187          | 457      | 467      | 243      | 487     | 464       | 556       | 227    | 364          | 335          | 309          | 430           | 286     | 433       | 529        |           |
| 14 | 068     | 211          | 121       | 131        | 273        | 085          | 066         | 291     | 167       | 182          | 385      | 385      | 262      | 545     | 464       | 556       | 227    | 364          | 335          | 309          | 430           | 286     | 433       | 529        |           |
| 15 | 065     | 281          | 088       | 155        | 202        | 035          | 112         | 241     | 181       | 184          | 478      | 407      | 259      | 514     | 563       | 556       | 227    | 364          | 335          | 309          | 430           | 286     | 433       | 529        |           |
| 16 | -063    | 137          | -020      | 103        | 263        | 068          | 060         | 194     | 206       | 250          | 307      | 264      | 065      | 336     | 335       | 428       | 341    | 135          | 489          | 464          | 309           | 430     | 286       | 433        | 529       |
| 17 | 024     | 119          | 085       | 016        | 049        | 030          | 127         | 036     | 022       | 068          | 079      | 050      | 037      | 021     | -075      | 032       | 132    | 164          | 489          | 464          | 309           | 430     | 286       | 433        | 529       |
| 18 | 133     | 235          | 260       | 230        | 130        | 105          | 162         | 207     | 094       | 181          | 254      | 289      | 334      | 203     | 236       | 280       | 234    | 246          | 616          | 464          | 309           | 430     | 286       | 433        | 529       |
| 19 | 066     | 170          | 163       | 060        | 150        | 132          | 129         | 214     | 125       | 099          | 282      | 263      | 248      | 269     | 204       | 204       | 242    | 246          | 616          | 464          | 309           | 430     | 286       | 433        | 529       |
| 20 | -026    | 131          | 044       | 088        | 107        | -085         | 109         | 090     | 074       | 091          | 283      | 283      | 168      | 371     | 303       | 265       | 227    | 138          | 364          | 335          | 309           | 430     | 286       | 433        | 529       |
| 21 | 020     | 192          | 055       | 162        | 112        | -009         | 089         | 187     | 130       | 215          | 345      | 369      | 125      | 366     | 326       | 552       | 392    | -001         | 311          | 232          | 300           | 430     | 286       | 433        | 529       |
| 22 | 106     | 133          | 104       | 194        | 141        | 148          | 267         | 194     | 067       | 266          | 134      | 170      | 138      | 255     | 209       | 228       | 210    | 070          | 218          | 155          | 254           | 276     | 286       | 433        | 529       |
| 23 | 206     | 222          | 132       | 250        | 168        | 226          | 245         | 294     | 199       | 422          | 193      | 174      | 300      | 115     | 170       | 143       | 233    | 077          | 298          | 244          | 117           | 247     | 375       | 433        | 529       |
| 24 | 423     | 360          | 382       | 469        | 199        | 347          | 427         | 145     | -001      | 196          | 151      | 206      | 501      | 072     | 118       | 153       | 054    | 028          | 232          | 149          | 067           | 187     | 321       | 469        | 529       |

\* 相関係数はピアソンの積率相関係数

\*\*対角要素はSMCによる推定値

\*\*\*数値は、小数点以下3桁を小数点を省略して記してある

(Ⅲ) 学歴相関状況相関行列

表8 職場選択意識構造

—因子負荷行列—

| 項 目           | 因 子 負 荷 |        |        |        | 共 通 性 |
|---------------|---------|--------|--------|--------|-------|
|               | 第1因子    | 第2因子   | 第3因子   | 第4因子   |       |
| 1 新しい看護       | -0.001  | 0.704  | -0.025 | -0.028 | 0.497 |
| 2 最先端をゆく医療活動  | 0.280   | 0.591  | -0.053 | 0.082  | 0.438 |
| 3 有能なリーダー     | 0.048   | 0.638  | -0.120 | 0.117  | 0.424 |
| 4 充実した現職教育    | 0.086   | 0.589  | 0.120  | 0.067  | 0.374 |
| 5 早く責任ある地位    | 0.294   | 0.256  | 0.153  | -0.000 | 0.176 |
| 6 仕事をまかせてもらえる | 0.000   | 0.437  | 0.208  | -0.015 | 0.235 |
| 7 継続教育の便宜よし   | 0.035   | 0.448  | 0.263  | 0.104  | 0.283 |
| 8 給与がよい       | 0.275   | 0.128  | 0.496  | 0.035  | 0.340 |
| 9 厳しくない選抜     | 0.237   | -0.067 | 0.427  | -0.014 | 0.243 |
| 10 勤務条件が守られる  | 0.154   | 0.174  | 0.584  | 0.047  | 0.398 |
| 11 伝統がある      | 0.653   | 0.126  | 0.131  | 0.115  | 0.474 |
| 12 高名な医師      | 0.630   | 0.238  | 0.123  | 0.119  | 0.483 |
| 13 優秀な仲間      | 0.256   | 0.583  | 0.080  | 0.171  | 0.442 |
| 14 新設病院       | 0.693   | 0.043  | 0.142  | 0.085  | 0.510 |
| 15 大都市にある     | 0.657   | 0.102  | 0.131  | 0.023  | 0.460 |
| 16 規模が大きい     | 0.724   | 0.091  | 0.109  | 0.087  | 0.552 |
| 17 公務員        | 0.446   | -0.055 | 0.285  | 0.185  | 0.318 |
| 18 両親の居住地に近い  | -0.015  | 0.043  | 0.042  | 0.309  | 0.099 |
| 19 先生などの評判よし  | 0.241   | 0.215  | 0.105  | 0.656  | 0.547 |
| 20 知り合いの評判よし  | 0.233   | 0.098  | 0.093  | 0.656  | 0.503 |
| 21 知り合いが勤めている | 0.383   | -0.010 | 0.020  | 0.415  | 0.320 |
| 22 総合病院       | 0.518   | 0.034  | 0.192  | 0.223  | 0.356 |
| 23 労働組合活発     | 0.166   | 0.182  | 0.364  | 0.206  | 0.236 |
| 24 福祉厚生の実     | 0.059   | 0.305  | 0.550  | 0.237  | 0.456 |
| 25 研究活動活発     | 0.021   | 0.671  | 0.244  | 0.133  | 0.529 |
| 因子寄与          | 3.421   | 3.186  | 1.650  | 1.445  | 9.703 |
| %             | 35.261  | 32.844 | 17.018 | 14.896 |       |

\* ゴジック数字は0.300以上のもの

\*\*主因子法により因子を抽出し、因子についてバリマックス回転をおこなった後の因子負荷行列

きいものは、

- 18. 両親の居住地に近いこと
  - 17. 国・公・市立（公務員）であること
  - 22. 総合病院であること
  - 16. 規模が大きいこと
- などとなっている。

平均値と標準偏差値からみると、職場選択の条件としては、多くの学生が一致して、充実した現職教育の機会を提供し、勤務条件のよい職場を希望していること。それに対して、いわゆる出世や、

施設のもつ伝統とか新しさにはあまり関心をもっていないこと。また両親の居住地に近いことや、公務員になることなどの問題では、個人の置かれた立場によって評価にバラツキがでることなどがわかる。

② 選択意識構造

次に、因子分析法によって得られた表8の因子負荷行列を手がかりに、因子を解釈することを通して、職場選択意識構造をさぐってみよう。

まず、表8で共通性の部分をながめると、



## 進路選択状況調査報告(Ⅱ)

18. 両親の居住地に近いこと
5. 責任のある地位に早くつけること
6. 仕事をまかせてもらえる度合いが大きいこと
23. 労働組合の活動が活発であること
9. 就職に際して選抜がきびしくないこと

などの値が相対的に小さいことに気がつく。これは、それらの項目が、これから解釈する4因子とは共通するところの少ない項目であることを示している。(主因子解では、項目18は、第8因子、項目5と6は第6因子における因子負荷が大きい値をとっている。)

それでは、表8の因子負荷行列をもとにして因子の解釈をおこなってみよう。ここでは、負荷が0.300以上の項目に注目して1つ1つの因子を解釈してゆくことにする。

第1因子において負荷の高い項目は、

16. 規模が大きいこと
14. 新設の病院であること
15. 大都市にあること
11. 伝統があるところであること
12. 高名な医師がいること
22. 総合病院であること
17. 国・公・市立(公務員)であること
21. 知人・先輩・友人など知り合いの人が勤めていること

などである。これらの項目に共通した性質というものを考えてみると、職場がもつ規模の大きさ、伝統、大都市にあることなど、その職場に所属することにより、さまざまな便宜が得られると共に、安定感や安全感が得られることが浮んでくる。いわば、帰属感や所属欲求のはけ口としての職場が

考えられているといえよう。そこでこの因子は、「安定性」の因子と解釈することができる。

第2因子において負荷の高い項目は、

1. 新しい看護活動をしていること
25. 研究活動が活発であること
3. 有能なリーダーのいること
2. 最先端をゆく医療活動をしていること
4. 充実した現職教育がおこなわれていること
13. 優秀な仲間が多いこと
7. 継続教育を受けるときに都合がよいこと
6. 仕事をまかせてもらえる度合いが大きいこと
24. 福祉、厚生面が充実していること

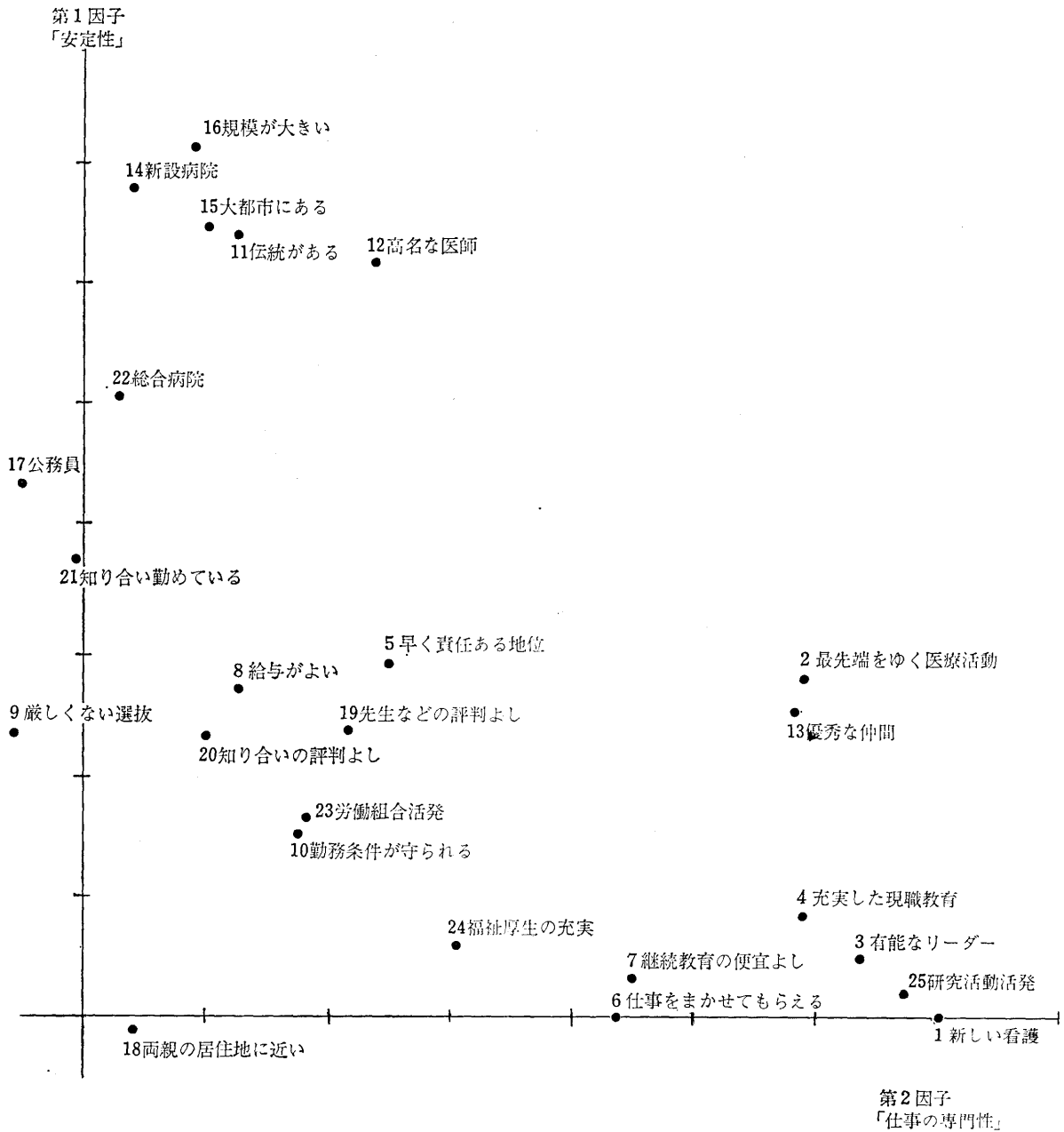
などである。これらの項目に共通していることは、第1因子とちがいで、看護活動そのものを問題にしていること、すなわち、どのような職場であるのかというのではなく、どのようなことをしている、あるいはできる職場であるのかということの問題にしていることである。そして、各個人が、看護活動を行なっていく上で、職場が、個人の専門的技術や知識を充実させ、個人の専門性を高めることを促進する場であるかどうかを問題にしている。別の言い方をすれば、自己学習、自己成長、より高度な専門性の獲得などの場を提供するものとして職場をとらえていると考えることもできる。そこでこの因子は、「仕事の専門性」の因子と解釈することができる。

第3因子をみると、

10. 勤務条件がよく守られること
24. 福祉、厚生面が充実していること
8. 給与がとくに良いこと
9. 就職に際して選抜がきびしくないこと

図1 職場選択意識構造

—第1因子と第2因子からなる  
因子空間における25項目の布置—



## 進路選択状況調査報告(Ⅱ)

### 23. 労働組合の活動が活発であること

などが高い負荷を示している。これらの項目は、それがどのような職場であれ、労働条件とか待遇の条件を問題にしているところに共通したところがみられる。いわば、日々働く場としての働きやすさや労働条件のよさ、もっと言えば、緊張感やビリビリした忙しさにまきこまれることの少ない、精神的疲労の多くない職場といったイメージである。そこでこの因子は「気楽さ」の因子と解釈することができよう。

第4因子で負荷の高いのは、

19. 先生・先輩・看護学校の友人などの評判がよいこと

20. 親・知人・看護学校以外の友人などの評判がよいこと

21. 知人・先輩・友人など知り合いの人が勤めていること

18. 両親の居住地に近いこと

などである。これらの項目に共通しているところは、身近かな人々と関係をもっていることであろう。先生・先輩・友人・両親・知人など、個人をとりまく人々が、その職場をどのように評価しているのかということその内容にしている。そこで、この因子は「周囲の見方」の因子と解釈することができよう。

以上、4つの因子について、各項目の因子負荷から、それぞれ「安定性」、「仕事の専門性」、「気楽さ」、「周囲の見方」と解釈することができた。

ところで、因子寄与(固有値)の大きさは、第1因子と第2因子の2つの因子で、この4つの因子から構成されたと考えたときの職場選択意識構造の3分の2を説明していることを示している。すなわち、職場選択意識を構成している因子のうち、その主要なものは、第1因子として考えられた「安定性」と、第2因子として考えられた「仕事の専門性」と考えることができそうである。2つの因子をたて軸と横軸にして、25項目の因子負荷をプロットしてみると図1が得られ、各項目の類似関係を、大まかな形で知ることができる。ここでも先に触れてあるように項目18が原点近くに位置、2つの因子との関係がほとんどないことを示している。また、項目2および13

2. 最先端をゆく医療活動をしていること

13. 優秀な仲間が多いこと

は、両方の因子に対して負荷が高い項目であり、その内容をみると、第1因子の「安定性」が、悪い意味の「保守性」とか「権威主義」というイメージとそのまま結びつくものではないことを示しているようである。

## Ⅳ 結果の要点

### 1. 看護教育を受ける過程における状況

1) 看護学校に入学した当時と比べて看護観・看

護婦観に変化を経験している者は8割を超えている。変化の内容としては、「看護の専門性」に関する理解や認識の深化、「看護活動のもつ困難性、

きびしさ」に対する認識の深化、「看護活動をやりがいのあるものとして自覚すること」などがあげられている。

2) 「入学してよかった」という経験をもつ者は、4人のうち3人を占めている。どんな場合にその思いを強めたかという点、主に、「友人、教師、医師、患者など、さまざまな人との出会い」、「充実した教育環境を再認識したとき」、「自己成長を実感するとき」などがあげられている。

3) 「入学して失敗したな」経験をもつ者は、5人のうち3人を占めている。また、そのような後悔は、「過密なカリキュラムを眼前にして」、「忙しさ、疲労の中で生活にゆとりがないと実感されたとき」、「看護婦への適性に疑問をもったり、自信をなくしたとき」などがあげられている。

4) 「学校をやめたい」という思いを経験している者は、3人のうち2人を占めている。そして、そのような思いは、「実習中」、「看護婦への適性に疑問を感じたり、自信をなくしたとき」、「他の進路を選んだ友人との話し合いや学歴を問われたとき」などに生じることが多いことが示された。また、「やめたい」という気持の克服方法には、危機の内容や個人の置かれた環境によりちがいが

みられるが、「初志貫徹型」、「逃避嫌悪型」、「励まされ型」、「資格志向型」などがあるようである。また、中には積極的な克服方法とはいえない「なりゆき型」や「しがらみ型」による自己説得もみられる。

## 2. 職場選択の条件

1) 卒業後、看護婦として働く際の職場選択の条件として重視されるものは、「充実した現職教育の実施」「勤務条件の良さ」があげられている。それに対し、「出世」や「伝統、新設病院」という条件はあまり重視されない。また、「両親の居住地に近いこと」や「公務員であること」「規模の大きさ」などの条件は、個々の学生が置かれた条件や個人の価値観により重視するかどうかバラツキがみられる。

2) 職場選択の意識構造としては、「安定性」、「仕事の専門性」、「気楽さ」、「周囲の見方」の4つの因子が考えられる。そのうち、「安定性」と「仕事の専門性」が職場選択の意識を支配する割合の大きい因子であることがわかった。また、「両親の居住地」やいわゆる「出世」に関しては、ここでは考察されなかった別な因子の存在が推測された。

(1980・5・12 受理)

# 進路選択に対する意識調査

日本看護協会調査研究部

記入上の注意：特に記入する方法が書かれていないときは，選択肢のある場合は，該当するものに○印をつけ，空欄の場合は該当する内容を記述して下さい。

○まず，看護学校に入学した当時のことを思い出してお答え下さい。

1. あなたの卒業した高校の所在・学校名・課程別を書いて下さい。

○所在地

( ) 都道府県 ( ) 区市町村

○学校名

国 立 ( ) 高等学校  
都道府県立 ( )  
市立  
私立

○課程別

1 普通科 2 商業科 3 家政科 4 衛生看護科 5 その他

2. あなたが高校を卒業したとき，あなたのお父さんは，仕事をなさっていましたか。

1 仕事をしていた 2 仕事をしていなかった 3 すでに父は死亡

↓  
そのお仕事は，この中のどれにあたるでしょうか。

1. 農林漁業
2. 自営業主，中小企業主
3. 専門・技術的職業（医師，技術者，教師など）
4. 管理的職業（会社や官庁の課長，部長，重役など）
5. 大企業（1,000人以上）のサラリーマン（事務やセールスマンなど）
6. 中小企業（1,000人未満）のサラリーマン（事務やセールスマンなど）
7. 大企業（1,000人以上）の工員
8. 中小企業（1,000人未満）の工員，販売員
- その他（ ）

3. あなたのお父さんが最後に与えられた学校はどちらですか。

1 旧制小学校 2 旧制中学 3 旧制高校，専門学校 4 旧制大学 5 不明  
新制中学校 新制高校 新制短大，高専 新制大学

4. あなたのお母さんが最後に与えられた学校はどちらですか。

1 旧制小学校 2 旧制女学校 3 旧制専門学校 4 旧制大学 5 不明  
新制中学校 新制高校 新制短大，高専 新制大学

5. あなたのお母さんは、結婚後、仕事をなさっていましたか。
1. 結婚後全く仕事をしていなかった
  2. 結婚後しばらくの間は仕事をしていましたが、その後はやめている
  3. 子供たちがある程度大きくなってから再び仕事についた
  4. 結婚後ずっと仕事をつづけている
6. あなたが、看護学校を選んだ主な動機はなんですか。

7. あなたが看護学校に入学した時、看護婦にぜひなろうと考えていましたか。
1. ぜひ看護婦になろうと考えていた。
  2. 看護婦になろうという気持はあまりなかった。  
→では看護学校へ入学したのはどのような理由からでしょうか

8. 現在、ふり返ってみて、これまでのあなたの進路選択はどうであったと思いますか。
1. 間違っていなかったと思う
  2. まあ大した間違いはなかったと思う
  3. いろいろと問題があったようだ
  4. 間違っていたと思う
  5. わからない

○入学から現在にいたるまでの過程を思い出しながらお答え下さい。

9. 入学した当時とくらべて、現在のあなたの看護、看護婦に対する見方や考え方は、変わっていますか。
1. はい
  2. いいえ
- それは、どんな点ですか。

10. あなたは、この学校に入ってよかったと思うようなことがありましたか。
1. ある
  2. ない
- それは、どんなときですか。

11. あなたは、この学校に入って失敗したと思うようなことがありましたか。
1. ある
  2. ない
- それは、どんなときですか。

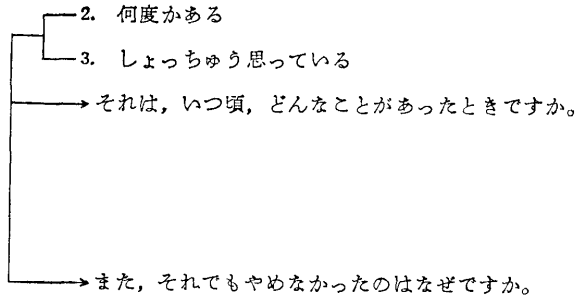
進路選択状況調査報告(II)

12. あなたは、これまで、学校をやめたいと思ったことがありますか。

1. ない

2. 何度かある

3. しょっちゅう思っている



13. 看護実習にでてみて、あなたは、それまでもっていた看護、看護婦に対する見方や考え方が変わりましたか。

1. はい

2. いいえ

→それは、具体的には、どんな点ですか。

14. あなたは、現在あなたが看護学生であるということに誇りをもっていますか。

1 誇りをもっている

2 どちらともいえない

3 誇りをもっていない

○看護婦という職業や仕事に関してお答え下さい。

15. あなたは看護教育を受けている現在、自分自身と看護婦の仕事との関係をどのようなものと考えていますか。

該当する・を○で囲んで下さい。

|                     | 合<br>っ<br>て<br>い<br>る | ま<br>あ<br>合<br>っ<br>て<br>い<br>る | い<br>あ<br>ま<br>り<br>合<br>っ<br>て<br>い<br>る | 合<br>っ<br>て<br>い<br>な<br>い |
|---------------------|-----------------------|---------------------------------|-------------------------------------------|----------------------------|
| 1. あなたの興味、関心の点で     | •                     | •                               | •                                         | •                          |
| 2. あなたの学ぶ力からみて      | •                     | •                               | •                                         | •                          |
| 3. あなたの体力や身体的条件からみて | •                     | •                               | •                                         | •                          |
| 4. あなたの仕事観・職業観からみて  | •                     | •                               | •                                         | •                          |
| 5. あなたの性格からみて       | •                     | •                               | •                                         | •                          |
| 6. あなたの将来設計からみて     | •                     | •                               | •                                         | •                          |

16. あなたは、現在次の各点について看護婦という職業にどのようなイメージを抱いていますか。「++(良いイメージ)」から「--(悪いイメージ)」の5段階のうち該当する●を○で囲んで下さい。

|             | ++ | + | ± | - | -- |
|-------------|----|---|---|---|----|
| 1. 賃金収入の点で  | ●  | ● | ● | ● | ●  |
| 2. 仕事の将来性   | ●  | ● | ● | ● | ●  |
| 3. 勤務時間     | ●  | ● | ● | ● | ●  |
| 4. 仕事の内容    | ●  | ● | ● | ● | ●  |
| 5. 職場の作業環境  | ●  | ● | ● | ● | ●  |
| 6. 社会的な評価   | ●  | ● | ● | ● | ●  |
| 7. 仕事の専門性   | ●  | ● | ● | ● | ●  |
| 8. 社会的貢献の点で | ●  | ● | ● | ● | ●  |
| 9. やりがい     | ●  | ● | ● | ● | ●  |
| 10. 職場の人間関係 | ●  | ● | ● | ● | ●  |

17. あなたは、将来自分の子供が看護職につきたいといったら、どのような態度をとるでしょうか。

1. ぜひすすめる
2. 一応すすめる
3. どちらともいえない
4. あまりすすめたくない
5. 決してすすめない

またどのような理由で、そんな態度をとると考えたのでしょうか。

理由

18. 「看護婦は、一般の仕事と違い尊い職業だ」という意見がありますが、これはあなたの考えとどの程度一致していますか。

- 1 ほぼ一致している      2 どちらともいえない      3 ほとんど一致していない

19. 女性が職業をもって外で働くことについて世間にはいろいろな意見があります。下記の意見のうち、世間にもっとも多い意見は何番だと思いますか。また、あなた自身の意見に一番近いのは何番だと思いますか。それぞれ右のワク内の該当番号を○でかこんで下さい。

|                                        | 世間にもっとも多い意見 | あなたの意見 |
|----------------------------------------|-------------|--------|
| 1. 女性は職業をもたない方がよい。                     | 1           | 1      |
| 2. 結婚するまでは職をもった方がよい。                   | 2           | 2      |
| 3. 子供ができるまでは職業をもった方がよい。                | 3           | 3      |
| 4. 子供ができて、可能なかぎり続けた方がよい。               | 4           | 4      |
| 5. 子供が小さいあいだはやめて、ある程度大きくなったら再就職する方がよい。 | 5           | 5      |
| 6. わからない。                              | 6           | 6      |
| 7. その他(具体的 )                           | 7           | 7      |



進路選択状況調査報告(II)

20. あなたは、職業や仕事についてどんな考えをおもちですか。

次の各意見について、該当する・を○で囲んで下さい。

|                                                | 考左<br>えの<br>てよ<br>いう<br>るに | 考言ど<br>ええち<br>にぼら<br>近左か<br>いのと | 考言ど<br>ええち<br>にぼら<br>近右か<br>いのと | 考右<br>えの<br>てよ<br>いう<br>るに |                                      |
|------------------------------------------------|----------------------------|---------------------------------|---------------------------------|----------------------------|--------------------------------------|
| 1. 経済的にめぐまれなくても世の中のためになる職業につきたい                | •                          | •                               | •                               | •                          | 世の中のためになることよりも経済的に豊かな生活ができる職業につきたい   |
| 2. いそがしくてゆっくり楽しむための時間がなくても自分がそのことにうちこめる職業につきたい | •                          | •                               | •                               | •                          | 仕事はきまった時間内におわり、楽しむための時間を十分もてる職業につきたい |
| 3. 若いときにすこしは苦勞しても将来高い地位につける職業につきたい             | •                          | •                               | •                               | •                          | 将来高い地位につけることより平凡でも幸福な家庭をつくれる職業につきたい  |
| 4. 大規模な安定した職場でなくても自分の能力を十分に発揮できる職業につきたい        | •                          | •                               | •                               | •                          | 自分の能力はたとえ十分に発揮できなくとも、安定した職場がよい       |
| 5. 仕事より結婚や育児の方を優先させる                           | •                          | •                               | •                               | •                          | 仕事を続けることを前提に結婚や育児の問題を考える             |
| 6. 仕事をするのは結局のところ生活して行くためにやむを得ないことだ             | •                          | •                               | •                               | •                          | 仕事は人生の中で大きな生きがいだ                     |

21. あなたは、現在の生活において、次の各項目について、どのくらい重視していますか。

該当する・を○で囲んで下さい。

|                 | 大い<br>重視<br>している | わり<br>と<br>重視<br>している | ど<br>ち<br>ら<br>と<br>も<br>い<br>え<br>な<br>い | あ<br>ま<br>り<br>重<br>視<br>し<br>て<br>い<br>な<br>い | 全<br>然<br>重<br>視<br>し<br>て<br>い<br>な<br>い |
|-----------------|------------------|-----------------------|-------------------------------------------|------------------------------------------------|-------------------------------------------|
| 1. 身体や健康に関すること  | •                | •                     | •                                         | •                                              | •                                         |
| 2. 学業や実習に関すること  | •                | •                     | •                                         | •                                              | •                                         |
| 3. 進路に関すること     | •                | •                     | •                                         | •                                              | •                                         |
| 4. 家族に関すること     | •                | •                     | •                                         | •                                              | •                                         |
| 5. 友人に関すること     | •                | •                     | •                                         | •                                              | •                                         |
| 6. 恋愛や結婚に関すること  | •                | •                     | •                                         | •                                              | •                                         |
| 7. レジャーに関すること   | •                | •                     | •                                         | •                                              | •                                         |
| 8. クラブ活動に関すること  | •                | •                     | •                                         | •                                              | •                                         |
| 9. 政治に関すること     | •                | •                     | •                                         | •                                              | •                                         |
| 10. 教養や趣味に関すること | •                | •                     | •                                         | •                                              | •                                         |

22. あなたは全体として、現在の生活に満足していますか。

1. たいへん満足している
2. まあ満足している
3. どちらともいえない
4. あまり満足していない
5. 全く満足していない

○看護教育についてお答え下さい。

23. あなたは、現在の看護教育で期待されている看護婦像をどのようなものととらえていますか。これまで日々の教育の中で、肌で感じたものを手短かに描いて下さい。

24. 上の看護婦像は、あなた自身のもものと比べたとき、どんな点で一致し、どんな点でちがっていますか。

25. 現在の看護教育の中で、特に不足していると思っていることを書いて下さい。

26. 教室で受けた看護教育と看護実習との間にギャップを感じましたか。

1. はい                      2. いいえ  
└─→それはどんな点でしょうか。

27. 看護教育について不満な点があったら、次の各項目に添って書いて下さい。また、その中で、最も不満が大きい点については、文章に下線を引いて下さい。

1. 一般教養に関連して
2. 専門教育に関連して
3. 看護実習に関連して
4. 教師・指導者に関連して
5. 生活指導に関連して
6. 進路指導に関連して
7. 施設や設置に関連して
8. その他

## 進路選択状況調査報告(Ⅱ)

○将来の進路についてお答え下さい。

28. あなたは、現在、学校卒業直後の進路を、どのように予定していますか。例にならって、就職先・進学先などで具体的な施設名まで候補としてあがってありましたら、それを含めて書いて下さい。

例 「県立〇〇〇学院又は県立〇〇〇専門学校保健婦学科に進学したい」「都立〇〇病院に就職したい。小児科希望」  
「〇〇株式会社に看護婦として就職する」

29. 上の進路は、いつごろ決まりましたか。(未定の方は今後具体化する見通しを書いて下さい)

1. ( )年生( )月頃きめた
2. ( )年生( )月頃きめるつもり

30. あなたが学校卒業後の進路をきめるとき、重視したいと思っている条件を3つほど挙げてください。

- 1.
- 2.
- 3.

31. あなたは、一生をとおして、どのような職業経歴を考えていますか。例にならって具体的に書いて下さい。

例 「看護婦として、数年働き、結婚を機にやめるつもり。」「保健婦になるつもりで、保健婦として、結婚や育児とかにかかわらず、できる限り、働きたいと思っている」

32. 上の職業経歴に関連して遅かれ早かれ看護婦になる予定の方に就職の際の職場についておたずねします。

1. 主たる(最も実習時間の長い)実習病院は就職先の候補にあがっていますか。  
( 1. はい 2. いいえ)
2. 1以外の病院で、少しでも実習経験のある病院は就職先の候補にあがっていますか。  
( 1. はい 2. いいえ)
3. あなたの御両親の居住地に近いことが重要な条件になっていますか。  
( 1. はい 2. いいえ)
4. 首都圏にあることが重要な条件になっていますか。  
( 1. はい 2. いいえ)

33. あなたが看護婦として就職をするとしたら、次にあげる職場の条件をどのくらい重視しますか。該当する・を○で囲んで下さい。

|                              | 非常に重視する | かなり重視する | どちらともいえない | あまり重視しない | 重視しない |
|------------------------------|---------|---------|-----------|----------|-------|
| 1. 新しい看護活動をしていること            | ●       | ●       | ●         | ●        | ●     |
| 2. 最先端をゆく医療活動をしていること         | ●       | ●       | ●         | ●        | ●     |
| 3. 有能なリーダーのいること              | ●       | ●       | ●         | ●        | ●     |
| 4. 充実した現職教育がおこなわれていること       | ●       | ●       | ●         | ●        | ●     |
| 5. 責任のある地位に早くつけること           | ●       | ●       | ●         | ●        | ●     |
| 6. 仕事をまかせてもらえる機会が大きいこと       | ●       | ●       | ●         | ●        | ●     |
| 7. 継続教育を受けるときに都合がよいこと        | ●       | ●       | ●         | ●        | ●     |
| 8. 給与がとくに良いこと                | ●       | ●       | ●         | ●        | ●     |
| 9. 就職に際して選抜がきびしくないこと         | ●       | ●       | ●         | ●        | ●     |
| 10. 勤務条件がよく守られること            | ●       | ●       | ●         | ●        | ●     |
| 11. 伝統があるところであること            | ●       | ●       | ●         | ●        | ●     |
| 12. 高名な医師がいること               | ●       | ●       | ●         | ●        | ●     |
| 13. 優秀な仲間が多いこと               | ●       | ●       | ●         | ●        | ●     |
| 14. 新設の病院であること               | ●       | ●       | ●         | ●        | ●     |
| 15. 大都市にあること                 | ●       | ●       | ●         | ●        | ●     |
| 16. 規模が大きいこと                 | ●       | ●       | ●         | ●        | ●     |
| 17. 国・公・市立(公務員)であること         | ●       | ●       | ●         | ●        | ●     |
| 18. 両親の居住地に近いこと              | ●       | ●       | ●         | ●        | ●     |
| 19. 先生・先輩・看護学校の友人などの評判がよいこと  | ●       | ●       | ●         | ●        | ●     |
| 20. 親・知人・看護学校以外の友人など評判がよいこと  | ●       | ●       | ●         | ●        | ●     |
| 21. 知人・先輩・友人など知り合いの人が勤めていること | ●       | ●       | ●         | ●        | ●     |
| 22. 総合病院であること                | ●       | ●       | ●         | ●        | ●     |
| 23. 労働組合の活動が活発であること          | ●       | ●       | ●         | ●        | ●     |
| 24. 福祉、厚生面が充実していること          | ●       | ●       | ●         | ●        | ●     |
| 25. 研究活動が活発であること             | ●       | ●       | ●         | ●        | ●     |

○あなたのご家庭についてお答え下さい。

34. あなたのお父さんは現在働いていますか。  
 1. 働いている      2. 働いていない      3. すでに死亡
35. あなたは、何人きょうだいですか。(該当者なしのところは0を記入して下さい)  
 兄(            )人      姉(            )人  
 弟(            )人      妹(            )人
36. 将来ご両親の面倒をみるのはどなたと考えていますか。  
 1. あなた自身      2. あなた以外の人(            )

ご協力ありがとうございました